


令和5年度 学校教育概要



横浜市立旭小学校

令和4～6年度 中期学校経営方針

| 横浜市立 旭小学校 令和4～6年度版 中期学校経営方針 (令和5年度修正) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|----|------|-------|-----|--------|-----|--------|-----|---|--|------|----|--|--------|---|--|--|--|--|--|-------|---------|-------------------------------|--|
| <p>あかるくさわやか ひとみきらきら あさひっ子 「思いをもつ力」「やり抜く力」「関わる力」</p> <p>【学校教育目標】 昨年度より、これまでの学校教育目標「あかるくさわやか ひとみきらきら あさひっ子」から、本校で重点的に育てたい資質・能力として3つを掲げ、全教育活動において目指す方向目標として置き換えて学校教育を進めてきた。題目化して質的な共有を欠いていた学校教育目標の更新として、教職員も児童も一体となって高度な分野で進んでいる。中期学校経営方針を打ち出し、2年目の今年度、常時、資質・能力の獲得状況を確認しながら学校教育を推進していく。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>学校概要</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>新立</td> <td>122</td> <td>周年</td> <td>学校長</td> <td>益子 照正</td> <td>副校長</td> <td>並元 カカリ</td> </tr> <tr> <td>学期制</td> <td colspan="2">2</td> <td>一般学級</td> <td colspan="2">21</td> <td>個別支援学級</td> <td>7</td> </tr> </table> | | 新立 | 122 | 周年 | 学校長 | 益子 照正 | 副校長 | 並元 カカリ | 学期制 | 2 | | 一般学級 | 21 | | 個別支援学級 | 7 | <p>【教育課程全体で育成を目指す資質・能力】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>資質・能力</th> <th>具体的学習活動</th> </tr> <tr> <td>《思いをもつ力》 《やり抜く力》 《関わる力》</td> <td> ○中一貫教育推進プロジェクトにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「5年間で育てるべき21の資質・能力」 中尾中学校 上尾小学校 旭小学校 人とのかわりの中で、自分らしさを表現しながら、主体的に学び続ける子ども ○7つの市内各校の授業参観行事への参加を通じて、授業に参観し対話・質疑・応答を通じての共通理解を深め、ブロックで実践している学習活動の実践を通して、本校の授業が責任1～2年目、かつ昨年度はほとんどが交流を体験できなかったことなどを踏まえ、積極的な情報共有を図り、児童生徒の身を持って実践した教育活動を目指す。 </td> </tr> </table> | | | | | 資質・能力 | 具体的学習活動 | 《思いをもつ力》 《やり抜く力》 《関わる力》 | ○中一貫教育推進プロジェクトにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「5年間で育てるべき21の資質・能力」 中尾中学校 上尾小学校 旭小学校 人とのかわりの中で、自分らしさを表現しながら、主体的に学び続ける子ども ○7つの市内各校の授業参観行事への参加を通じて、授業に参観し対話・質疑・応答を通じての共通理解を深め、ブロックで実践している学習活動の実践を通して、本校の授業が責任1～2年目、かつ昨年度はほとんどが交流を体験できなかったことなどを踏まえ、積極的な情報共有を図り、児童生徒の身を持って実践した教育活動を目指す。 |
| 新立 | 122 | 周年 | 学校長 | 益子 照正 | 副校長 | 並元 カカリ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学期制 | 2 | | 一般学級 | 21 | | 個別支援学級 | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 資質・能力 | 具体的学習活動 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 《思いをもつ力》 《やり抜く力》 《関わる力》 | ○中一貫教育推進プロジェクトにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「5年間で育てるべき21の資質・能力」 中尾中学校 上尾小学校 旭小学校 人とのかわりの中で、自分らしさを表現しながら、主体的に学び続ける子ども ○7つの市内各校の授業参観行事への参加を通じて、授業に参観し対話・質疑・応答を通じての共通理解を深め、ブロックで実践している学習活動の実践を通して、本校の授業が責任1～2年目、かつ昨年度はほとんどが交流を体験できなかったことなどを踏まえ、積極的な情報共有を図り、児童生徒の身を持って実践した教育活動を目指す。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

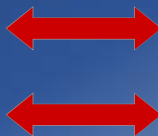
寺尾中学校ブロックでの「9年間で育てる子ども像」に即し、本校独自の学校教育を展開 **本校WEBに掲載**

寺尾中学校ブロック 9年間で育てる子ども像


昨年度改訂 旭小学校教育目標

人とのかわりの中で、自分らしさを表現しながら、主体的に学び続ける子ども

主体的に学ぶ力
表現する力
人と関わる力



思いをもつ力
やり抜く力
関わる力



令和の学力観 = 「内容」から「資質・能力」へ

学習定着率「Learning Pyramid」
(出典: National Training Laboratories)

伝統的な学習法



講義を聴く 5%
 書物を読む 10%
 視聴する 20%
 示範を受ける 30%
 議論する 50%
 体験を通して学ぶ 75%
 他者に教える 90%

?

令和4～6年度における 学校教育の方向性

授業時数の適正化により、質の高い学びを提供する

「子どもの必要感」を大切にした教育課程を編成する

PTA・地域が有機的に連携した学校を目指す

1 授業時数の適正化により、質の高い学びを提供する

・学校教育法施行規則第51条

小学校（略）の各学年における各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの授業時数並びに各学年における総授業時数は、別表第一に定める授業時数を標準とする。

別表第一（第51条関係） ※平成29年文部科学省令第20号により改正されたもの

| 区分 | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 | 第4学年 | 第5学年 | 第6学年 | |
|-------|------|------|------|------|------|------|-----|
| 各教科 | 国語 | 306 | 315 | 245 | 245 | 175 | 175 |
| | 社会 | | | 70 | 90 | 100 | 105 |
| 算数の理科 | 算数 | 136 | 175 | 175 | 175 | 175 | 175 |
| | 理科 | | | 90 | 105 | 105 | 105 |
| 授業時数 | 生活 | 102 | 105 | | | | |
| | 音楽 | 68 | 70 | 60 | 60 | 50 | 50 |
| 図画工作 | 図画工作 | 68 | 70 | 60 | 60 | 50 | 50 |
| | 家庭 | | | | | 60 | 55 |
| 体育 | 102 | 105 | 105 | 105 | 90 | 90 | |

授業の
1単位時間
は45分間

1 授業時数の適正化により、質の高い学びを提供する

| | 年間総授業時数 (全国平均) 【H29年度】 | 標準授業時数 【H29年度告示】 | (参考) 標準授業時数 【H29年度実績】 | 旭小学校 標準授業時数 【令和元年度】 |
|----|------------------------------|---------------------|-----------------------------|---------------------------|
| 小5 | 1040.2 単位時間 | 1015 単位時間 | 980 単位時間 | 1090 単位時間 |

平成30年度公立小・中学校等における教育課程の編成・実施状況調査 結果を引用
※授業の1単位時間は45分間

令和5年度 5年生 = 1060単位時間 で計画

他学年 標準時数 プラス30～40単位時間で計画

1 授業時数の適正化により、質の高い学びを提供する

- 1年生 = 夏休み前までオール4時間授業
以降前期中は週2回、後期は週3回が5時間)
- 2年生 = 週3回(火・水・木)が5時間(通年)
- 3年生 = 全日5時間(通年)
- 4年生 } = 週2回(火・木)が6時間(通年)
- 5年生 }
- 6年生 }

「平成30年度公立小・中学校等における教育課程の編成・実施状況調査の結果 及び 平成31年度以降の教育課程の編成・実施について」
平成31年3月29日付 30文科初第1797号(文部科学省 通知)

1 授業時数の適正化により、質の高い学びを提供する

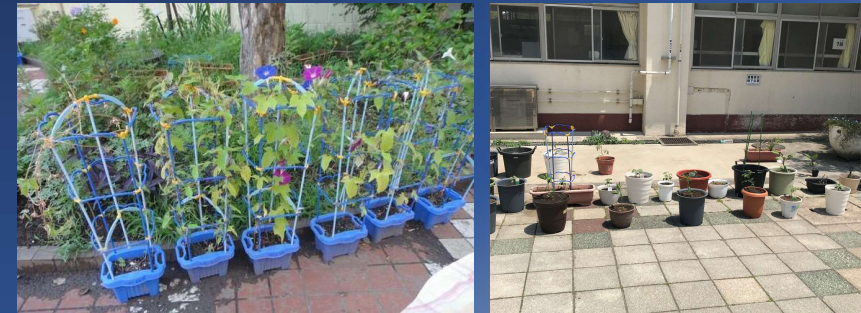
Q 旭小学校では、他校と比べて週授業時数が少ない？

| | |
|--------------|-------------|
| 旭小学校の1単位時間は | 近隣校の1単位時間は |
| 45分間 | 40分間 |
| 旭小学校の27単位時間は | 近隣校の30単位時間は |
| 1215分間 | 1200分間 |

A 他校と比べてほぼ同等です

2 「子どもの必要感」を大切にした教育課程を編成する

「こうします(教師主導)」から
「こうしたいです(子ども主体)」教育への転換



2 「子どもの必要感」を大切にした教育課程を編成する

PTA・地域・外部機関が有機的に連携した学校を目指す

保護者と学校との連絡強化を図るシステム「COCOO」を導入

→ 学校だより等を、メールにて配付(ペーパーレスの推進)

寺尾中学校と合同で学校運営協議会の開設(昨年10月)

→ 小中で育てたい資質・能力を共有した教育の推進

→ 同じ委員による小中学校の評価

学校という「箱」の中で学ぶだけではなく、地域全体を学びの場に

2 「子どもの必要感」を大切にした教育課程を編成する

PTA・地域・外部機関が有機的に連携した学校を目指す

学校という「箱」の中で学ぶだけではなく、地域全体を学びの場に



6年 総合 “活性化”をキーワードに、鶴見駅西口活性化に一役

2 「子どもの必要感」を大切にした教育課程を編成する

PTA・地域・外部機関が有機的に連携した学校を目指す

学校という「箱」の中で学ぶだけではなく、地域全体を学びの場に



6年 総合 プランディング会社の協力を得て、
公式マスコットキャラクターを開発



2 「子どもの必要感」を大切にした教育課程を編成する

PTA・地域・外部機関が有機的に連携した学校を目指す

学校という「箱」の中で学ぶだけではなく、地域全体を学びの場に



3年 総合 校内の木を調べ、専門家を呼んで
音声ガイド付き樹名板を制作



子どもの学びを充実させるための1年間の見通し

年度前半 学級集団づくりに重点

運動会 を 秋→春 開催時期の変更

今年度より、全校児童一斉開催 保護者人数制限なし

年度後半 集団を含む多様な学び合いに重点

6年生 片品体験旅行 5年生 御殿場体験学習

4年生 野島体験学習 すべて秋に実施

子どもの学びを充実させるための1年間の見通し

水泳 コロナ禍前の状況と同様に実施

※感染症対策を十分に行います

水着の学校指定を撤廃 帽子色も指定なし

動きやすく、華美でないものを推奨

変更点 感染不安を理由とした教室での別学習は「なし」

令和の学力観での望ましい関わりと旧態依然の関わり

どちらが、望ましい関わりだと思いますか？

その日の様子をお子さんに聞くとき

今日、どんなことを学んだの？ 今日、学校で「何を」やったの？

「よくわからなかったんだ」と打ち明けられたとき

じっくり考えてみたの!? しっかり聞かなかったの!?

早く学習内容が終わったと主張されたとき

どんなことがわかったの？ 教科書何ページが終わったの？

公式WEBページ 随時更新しています 公式Instagram

The image shows two side-by-side screenshots. The left screenshot is the official website of Asahi Elementary School (横浜市立 旭小学校 / Asahi Elementary School). It features a navigation menu on the left with items like '学校紹介' (School Introduction), '学校経営' (School Management), '学校だより' (School News), '年間行事予定' (Annual Event Schedule), '校長室より' (From the Principal's Office), 'あさひっ子の様子' (Asahi Children's Activities), 'GIGAスクール' (GIGA School), '教育相談' (Education Consultation), and '災害時の対応' (Disaster Response). The main content area includes an aerial view of the school and a contact information section with the phone number 045-581-1178 and a QR code. The right screenshot is the official Instagram profile for 'asahi_e.s._yokohama', showing a post of a schoolyard with children playing.